



のろりん

**ノロ 燐**

Rin Noro

## 選 評

グロテスクは、20世紀以後の芸術に深く根付いた美意識であり、美学者はこれに「醜美」という名称を与えたりする。ノロ燐氏の作品は、その意味での真正のグロテスクであり、その特質は、「六根糞掃衣壇」「鬼子母神」などの迫力に籠められている。一方、彼女の作品の背後には、円空仏にも共通する、日本の土着性に根差した、民衆の信仰と呪術の世界があり、近作「地母神の復活」では、更に普遍的な母性の深層に迫ろうとする意欲を感じさせる。夫で画家であった故・瀨瀨敏郎氏の伴走者としてのたゆまざる努力とその成果を評価したい。

辻 惟雄(東京大学名誉教授/多摩美術大学名誉教授/  
MIHO MUSEUM館長)

国籍 日本  
愛知県生まれ  
(高山市在住)  
生年 1942年  
職業 造形画家

## 作家略歴

- 1942 愛知県名古屋市に生まれる
- 1963 読売アンデパンダン展(~'64)
- 1964 第1回個展(東京)
- 1965 岐阜アンデパンダン・アート・フェスティバル
- 1966 シェル美術賞展 佳作賞 受賞
- 1971 劇団夜行館「無縁童女住生絵巻」に童女で特別出演(東京)
- 1973 観音扉押し絵「胎芽供養堂」(舞台美術、津軽巡回)その他 弘前扇ネプタ着手(~'76)
- 1974 朝日美術展 招待出品(丸栄スカイル/名古屋)('77・'78)  
観音扉押し絵\*仏壇『六根糞掃衣壇』
- 1975 麻の蚊帳絵5面図(舞台美術)
- 1976 瀨瀨敏郎&ノロ燐展(御苦羅供の晩餐)(七ツ寺共同スタジオ/名古屋)
- 1977 童女絵馬像-100号・レリーフ押し絵
- 1979 「人形館」展(サンシャインビル、セントラルパーク/東京/名古屋)
- 1986 JAPANエンバ美術賞展 入選('87)
- 1989 蚊帳絵と暗黒舞踏のコラボレーション公演(京都)  
宮城県美術館企画「美術の国の人形たち」展2点招待出品
- 1990 百米巨大絵巻2巻(指導・制作)一国内及びドイツ展(~'91)
- 2005 英国、米国、豪州、オランダなどのコンペ入賞(~'07)
- 2007 メルボルン日豪友好芸術祭 準グランプリ 受賞  
JAALA国際交流美術展 出品('08・'10・'12)
- 2009 今日の墨絵展 招待出品(東京)('10・'12)
- 2010 針生一郎が選んだ愛知60年代の現代美術展(堀美術館/名古屋)
- 2011 3.11以降、宮城県女川町の小学生たちと絵を通じた交流が続く
- 2013 瀨瀨敏郎&ノロ燐展(御苦羅供の晩餐)・あいちトリエンナーレ13・並行企画展  
(七ツ寺共同スタジオ、ちくさ正文館書店本店/名古屋)



ろっこんぶんぞうえだん

「六根糞掃衣壇」 1974年  
古布・綿・毛髪・粘土・絵の具・box・他  
163 × 140 × 55cm



「麻の蚊帳絵(部分)」 1975年

蚊帳、アクリル絵具・墨・他  
150 × 130cm  
全体図210 × 290 × 200cm



「胎芽供養堂」 1973年

古布・綿・毛髪・木・粘土・クルミ・他  
148 × 74 × 30cm